

# 「香椎花園前駅の森」の伐採強行は許されません!

福岡市東区香住ヶ丘の「香椎花園前駅の森」が、西鉄による説明も不十分のまま、伐採されています。住民の強い反対を押し切って、マンション建設を強行する西鉄の態度は許されません。

## 「いのち育む森を守ろう」

「香椎花園前駅の森」は、広い範囲の住民にとって憩いの森となっています。近辺の樹林地の間を鳥などの生物が行きかい生態系をなしています。最近、「福岡県レッドデータブック2001」で絶滅危惧種Ⅱ類に指定されている陸貝「キウシユウナミコギセル」が生息していることが確認され、さらに貴重な生物が生息している可能性も指摘されています。

西鉄は公共性の高い地場大手企業として、その社会的責任が問われます。地球温暖化防止が叫ばれる今日、貴重な森をなくすべきではありません。



工事が進められる現地

## 請願は市議会で「継続審査」に

「香椎花園前駅の森を守る会」が市議会に提出した請願が、7月25日の第4委員会で審議され、「継続審査」となりました。

日本共産党は、これまで聞き取りしてきた住民の要望を紹介しました。そして、市として西鉄に対し、森を保全し伐採工事の着工を強行しないよう強く要請すべきだと主張しました。また、市として現地の生態調査を行うよう求めました。

請願を採択するよう主張したのは日本共産党だけでしたが、他の会派も緑地保全の重要性は否定できず継続となりました。

## 日本共産党 市議会 市長と西鉄に緊急要請

「森を守れ」という住民の声に対し、福岡市の対応はまったく不十分です。西鉄が緑地保全に應じないのなら、市として買い取って保全するのが筋です。過去には南区の鴻巣山、中央区の「ぶくっつ」の森、城南区の「長尾の里山」など市によって保全された例があります。

日本共産党市議団は7月15日、市長に対し「香椎花園前駅の森」の保全を求める緊急申し入れを行いました。また7月9日には、西鉄本社を訪れ、竹島和幸社長あての要請書を申し入れました。



霧川副市長(左端)に要望書を提出する日本共産党市議団の6人(7月15日)